《令和7年度 研究会活動紹介》

研　究　会　名	代 表 者 氏 名
鎌倉仏教人師の伝記資料研究	長尾　隆寛
研究会名 略称:鎮西研	所　属:大正大学綜合仏教研究所

活　動　紹　介

【活動内容】

当研究会では、浄土宗第二祖 聖光上人(以下、敬称を省略)に関する下記の伝記に注目し、翻刻や対校作業を通じて、聖光の生涯と思想について考察することを目的とする。

・『鎮西禅師絵詞伝』18巻(以下、『絵詞伝』とする)…天明4年(1784)風航了吟作、和本のみ現存

・『大紹正宗国師伝略』1巻(以下、『伝略』とする)…文政11年(1828)順阿隆円作、和本のみ現存(翻刻を報告済)

聖光の生涯については未解明の事績も多い。『絵詞伝』・『伝略』は江戸期成立であるが、『聖光上人伝』や『法然上人行状絵図』等には示されない内容が存在する。翻刻や対校を進めながら、後代に追加された説があることをふまえた上で諸伝記と比較することにより、聖光の生涯に関する問題解明、新たな問題点を明らかにすることができると考える。

【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など

・『綜佛年報』45号に『伝略』翻刻の成果を掲載。

・『綜佛年報』46号に『絵詞伝』翻刻及び註(序文・巻1)の成果を掲載。

・『綜佛年報』47号に『絵詞伝』翻刻及び註(巻2)の成果を掲載予定。

【令和7年度活動計画】

翻刻…翻刻・対校に加え、註において出典や重要用語の解釈等を施し、『綜合佛教研究所年報』に掲載を予定している(現在は『絵詞伝』巻2まで報告済)。また、対校本に関する実地調査も計画している。

研究…これまでの成果をもとに、『絵詞伝』・『伝略』の特徴や書誌的整理の結果、また『聖光上人伝』等の諸伝記の内容や思想との関係性について発表する。